

## 参考資料

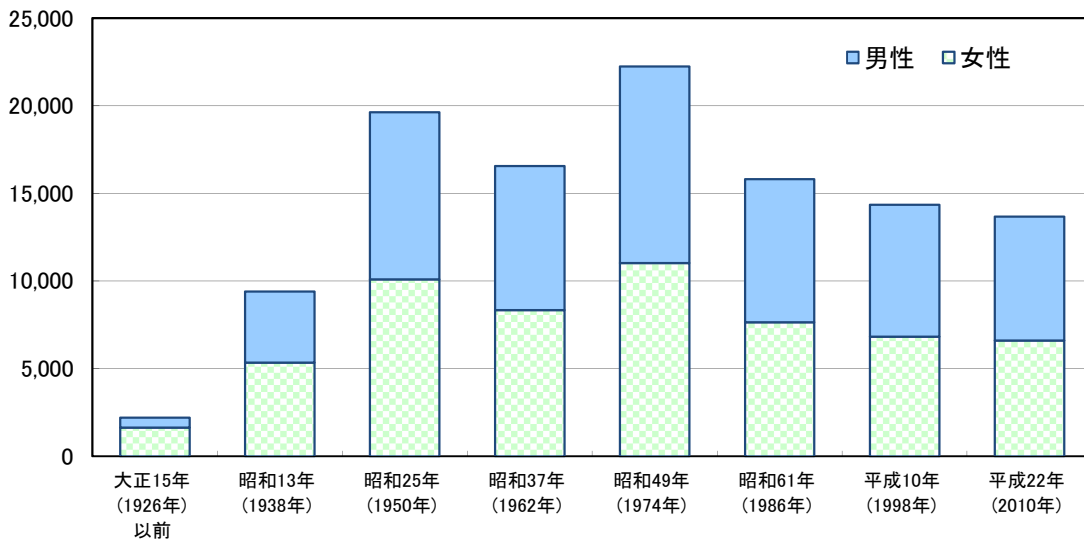
### とらどし 寅年生まれの人口について

令和4年(2022年)が寅年になることにちなんで、寅年生まれの滋賀県人口について令和3年10月1日現在の滋賀県推計人口により集計しました。

#### 1. 寅年生まれの人口は、113,853人。令和4年中に48歳になる昭和49年(1974年)生まれが最も多い。

◇滋賀県推計人口による寅年生まれの人口は、113,853人。男性56,351人、女性57,502人です。  
男女別では、女性の方がやや上回っています。

◇寅年生まれの人口を生年別でみると、最も多いのは、昭和49年(1974年)生まれ(令和4年中に48歳になる人)で22,237人。次いで、昭和25年(1950年)生まれ(令和4年中に72歳になる人)、昭和37年(1962年)生まれ(令和4年中に60歳になる人)、昭和61年(1986年)生まれ(令和4年中に36歳になる人)となります。



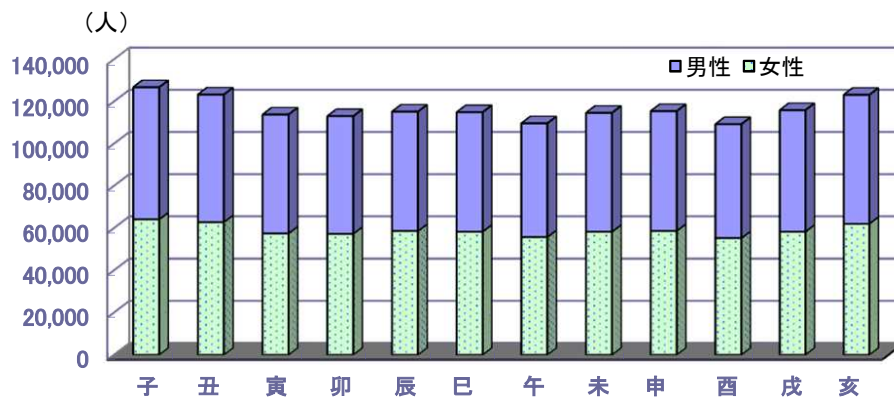
(表1)

生年	性別	総数			男性			女性		
		人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位
総数		113,853	100.0		56,351	100.0		57,502	100.0	
大正15年以前		2,197	1.9	8	571	1.0	8	1,626	2.8	8
昭和13年		9,391	8.2	7	4,047	7.2	7	5,344	9.3	7
昭和25年		19,633	17.2	2	9,534	16.9	2	10,099	17.6	2
昭和37年		16,550	14.5	3	8,204	14.6	3	8,346	14.5	3
昭和49年		22,237	19.5	1	11,220	19.9	1	11,017	19.2	1
昭和61年		15,817	13.9	4	8,172	14.5	4	7,645	13.3	4
平成10年		14,353	12.6	5	7,530	13.4	5	6,823	11.9	5
平成22年		13,675	12.0	6	7,073	12.6	6	6,602	11.5	6

## 2. 十二支別の人口では、寅年は9番目

◇滋賀県推計人口を十二支別にみると、寅年生まれは総数の8.2%を占め、9番目となっています。

◇最も多いのは、子年で126,790人(構成比9.1%)、次いで丑年の123,326人(構成比8.8%)となっています。最も少ないのは、酉年の109,269人(構成比7.8%)となっています。



(表2)

性別 十二支	総 数			男 性		女 性			
	人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位
総 数	1,395,288	100.0		688,230	100.0		707,058	100.0	
子 (ね)	126,790	9.1	1	62,644	9.1	1	64,146	9.1	1
丑 (うし)	123,326	8.8	2	60,494	8.8	3	62,832	8.9	2
寅 (とら)	113,853	8.2	9	56,351	8.2	9	57,502	8.1	9
卯 (う)	113,075	8.1	10	55,758	8.1	10	57,317	8.1	10
辰 (たつ)	115,203	8.3	6	56,594	8.2	6	58,609	8.3	5
巳 (み)	114,918	8.2	7	56,577	8.2	7	58,341	8.3	6
午 (うま)	109,667	7.9	11	53,916	7.8	12	55,751	7.9	11
未 (ひつじ)	114,657	8.2	8	56,390	8.2	8	58,267	8.2	8
申 (さる)	115,463	8.3	5	56,799	8.3	5	58,664	8.3	4
酉 (とり)	109,269	7.8	12	53,999	7.8	11	55,270	7.8	12
戌 (いぬ)	115,898	8.3	4	57,587	8.4	4	58,311	8.2	7
亥 (い)	123,169	8.8	3	61,121	8.9	2	62,048	8.8	3

- 注) ・ 十二支別の滋賀県人口については、令和3年(2021年)10月1日現在の滋賀県推計人口を使用しています。  
 (表2)の総数(人)には年齢不詳分を含んでいないため、令和3年(2021年)10月1日現在の総人口とは一致しません。  
 ・ 構成比は四捨五入しているため、構成比の計は100%になりません。

### 毎月人口推計調査とは

平成27年国勢調査に、住民基本台帳法に基づく人口移動状況(出生、死亡、転入、転出等)を合算するもので、5年ごとに実施される国勢調査の間の時点における人口を推計しています。この推計人口は、人や世帯の動きから県の姿を知ることができる大切なデータとして、多種多様な分野で活用されています。